

陽だまり

2007 45号

夏



就任のご挨拶

七尾鹿島広域圏事務組合

病院事業管理者 川口 光平



住民の皆様方に安全と安心の医療を提供できるようにするには、これまで以上

に企業性を十分に発揮できる体制こそ必要であると判断され、当病院は平成一九年四月から地方公営企業法の全部適用病院に変わりました。経営に関する全権を委任された病院事業管理者としては、皆様方のお力をお借りして、何とか経営改革を達成させていただきたいものだと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

公立能登総合病院

院長 藤岡 正彦



そうそうたる歴代院長の後を受けて院長を拝命しました。当

院は地域の皆さんのための病院です。その使命を忘れることなく、質の高い医療の提供に努め、さらに、思いやりのある「温かい病院」となるよう努力してまいります。

めざす地域医療連携

公立能登総合病院は、地域の医療機関と連携しながら、あなたの診療にあたります！

当院は、急性期対応病院（急病人や紹介状持参の患者さんを主に診療する病院）として「地域医療連携」を推進しています。

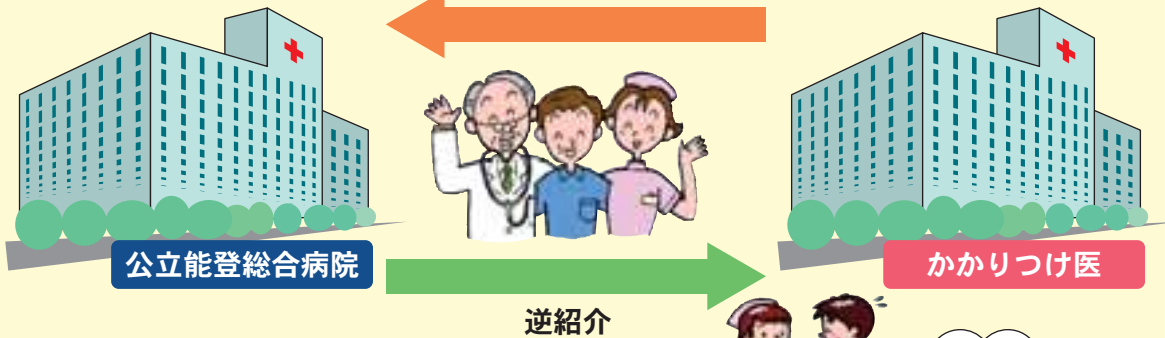
具体的には、「かかりつけ医」からご紹介いただいた患者さんの検査・手術・治療を中心に医療を行い、病状が安定した時点で、今までの「かかりつけ医」に逆紹介をし、切れ目のない治療を推進しています。

※紹介

- 「かかりつけ医」から、詳しい検査を必要と言われた患者さん
- 「かかりつけ医」から、入院が必要と言われた患者さん・・・など



紹介



※逆紹介

- 病状が安定した患者さん
- お薬だけの患者さん
- 能登病院へ通院できない患者さん・・・など



いつでも元の「かかりつけ医」にもどれるよ！

▽ご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

「かかりつけ医」について ～出前講座いたします！

このことに関して、当病院職員が、みなさまの地域、職場にお伺いして、わかり易くご説明する機会を持ちたいと思っております。ぜひ、地域、各種団体でお集まりの機会がありましたら、私達をお呼びください。お待ちしております！

連絡先：地域医療連携室 石垣・川島
TEL：52-8718 FAX：52-9225



ながおき ゆうこ
長沖 優子
(小児科医師)

抱負／頭・体を能登で鍛えます。



とみざわ ひでき
富澤 英樹
(産婦人科医長)

抱負／産婦人科医不足が騒がれていますが、前任者と協力し、いつでも安心してお産の出来る病院となるようにがんばります。宜しくお願いします。



つじや そうすけ
辻屋 壮介
(眼科医師)

抱負／出身地が能登ですので七尾も地元としてのイメージが強いです。御指導のほど宜しくお願いします。



たぐち ひさお
田口 久雄
(形成外科医師)

抱負／全力で頑張ります。



さかい けんじ
坂井 健二
(神経内科医長)

抱負／細く長くを心がけたいと思います。



いのまた じゅんいちろう
猪俣 純一郎
(循環器科医師)

抱負／患者様のお役に立てるようがんばりたいと思います。

新しく赴任しました。
よろしくお願ひします。



今回は、七尾市の中心街市道七尾東1号線沿いに位置し地元の「かかりつけ医」として、患者さんからも慕われている（医療法人社団）円山病院をお訪ねしました。



（医療法人社団）生年会
円山病院
院長 円山寛人 先生



先生のご趣味はなんですか
自分が、かかわった事で人が喜んでくれることです。（遊びは勿論、仕事に関しても）
好きな食べ物はなんですか
（お酒は飲まれるのですか、どんな物でも、どれくらい）（どんな所へ行かれますか）
茗荷^{みょうが}以外は何でも食べます。季節の新鮮な食材には目がありません。
お酒の方は、人並みのお付き合い程度ですよ。種類は何でもいけますが、特に親しい仲間と集まったの年2〜3回の日本酒好き酒会を楽しみにしています。
休日の過ごし方はどのようにしていますか
特にはないのですが、時間があれば妻と美

術館廻りをして絵画の鑑賞に浸っています。ゴルフやカラオケにも足を運ぶ時もあります。
先生が病院長として日頃心掛けていることはなんですか。
スタッフがしたい仕事をしやすいように環境を整えることです。又日頃から人の話を聞くように心掛けています（患者さん、スタッフは勿論、家族にでもです）

先生の好きな言葉がありますか、逆に嫌いな言葉、態度がありましたら教えてください。
好きな言葉は「小欲、知足」
嫌いなことは、思いやりのない言動ですね。
最近、世の中で気になる事、感じたことがありましたら教えてください。
「人間力の低下」（我慢をすること、人を認めること、ひとを許すこと）

これからの地域医療又は地域連携についてどう思われますか。
医療、介護にかかわる各機関（行政も含めて）が一つの機関として、利用される方々に係わることが、肝要であると思います。情報の共有化、市民の方々がわからないことがあった場合に相談できる窓口があればいいのですが。

地元生まれ育った分けですが、周りは随分変わったでしょうね
随分、こどもの数が減ってきて、街の中であまり子供の遊ぶ姿を見かけないようになり寂しい思いです。でも、人の優しさは、昔のままそれが救いですね。



円山先生には、お忙しい中お話を聞かせて頂きありがとうございました。ここに話されているお姿の中に、大きな抱擁力と確かな信念の元、先をみつめて診療なされていく様に思え頼もしく感じて病院を後にしました。

七尾鹿島広域圏事務組合 公立能登総合病院職員募集

- ◆試験区分・採用予定数
 - 臨床検査技師 1人
 - 薬剤師 2人
 - 管理栄養士 1人
 - 医療ソーシャルワーカー（社会福祉士） 1人
 - 臨床工学技士 若干名
 - 看護師及び助産師 27人
 - 診療情報管理士 1人
 - 事務職員（大学卒） 2人
 - ◆募集期間 7月12日（木）から8月17日（金）まで
 - ◆第1次試験日 9月16日（日）
- ※受験資格等・申込書請求、お問い合わせは
七尾鹿島広域圏事務組合公立能登総合病院
経営管理部総務課職員係 Tel.52-8749



よしむら ひろき
吉村 大樹
（研修医）

抱負/宇出津出身で七高卒です。能登の医療を担える医師目指します。



おの ゆき
小野 有季
（研修医）

抱負/一年間ですが、よろしくお願ひします。



わやく たかまさ
和薬 孝昌
（皮膚科医師）

抱負/能登への勤務は初めてです。珠洲への出張もあるので、能登方面の皮膚科医療を充実させていきたいと思ひます。



ふじもと あきひで
藤本 晃英
（皮膚科医長）

抱負/能登地区の皮膚科医療に貢献できるようがんばりますのでよろしくお願ひします。



ふじた ともこ
藤田 智子
（産婦人科医師）

抱負/力の限り、がんばります。



ひがしま ますと
東間 正人
（精神保健福祉部長）

抱負/門前町出身です。ふるさと能登で働くことは幸せなことです。がんばります。



院内で心肺停止症例が発生。 AEDが使用されました！

当院の正面玄関、レントゲン室待合室、精神センター2階に自動体外式除細動器（AED）が設置されているのをご存知でしょうか。突然倒れた人が意識、呼吸がなければ少しでも早く心臓に電気ショックを与える医療機器です。

私たち職員は、患者さんが廊下で倒れた時、どう対応するか、AEDが使えるための訓練をしてきました。

そんな矢先、病院内でリハビリ歩行練習中の患者さんが、しゃがみ込むように倒れ、理学療法士が姿勢を戻そうとしていたところを看護師が見つけ廊下に寝かせました。看護師は手を上げ人の応援を求め、通りかかった看護師が救急カートの用意をしました。また、偶然にも医師が通りかかり意識、呼吸、循環がないことからAEDの要求と同時に、心肺蘇生が開始され、AEDによる電気ショックを施行しました。その後、脈の測定が可能となったので、酸素投与、点滴施行し、救急外来で経過観察後、意識を回復し、病室へ戻り経過順調であります。この時対応し

た医師、看護師はBLS訓練（一次救命処置）、ICLSインストラクター（日本救急医学会認定）を取得した職員たちであり、チーム連携が効果的に実施された例でした。

看護部では、一昨年より院内急変時に対応できるよう救命処置普及委員会が立ちあげられ、BLS訓練（一次救命処置）、ICLSインストラクター取得の推奨、院外への出前講習などを行っています。

日頃の訓練活動が今回のような急変時の事例に対応できたのだと思います。

現在能登総合病院には、ICLSインストラクター取得者は10名います。今後も一般住民の皆様や、職場の方々、子供たちに救命処置を広める活動に努力していきます。職員に、気軽に声をかけていただければ職場、町内会どこへでも出前講習に伺います。

問い合わせ先
公立能登総合病院
救急外来 宮森



6月24日（日）に開催されたICLS能登コースで最新の心肺蘇生法を学び、心臓マッサージなど練習しました。



正面玄関に設置されている自動体外式除細動器

予防しましょう



ウイルス性発疹症

今春からののはしかの流行で首都圏の多くの大学で休講が相次ぎ、ニュースや新聞で話題になりました。はしかは麻疹（ましん）とも呼ばれ、伝染力が極めて強い麻疹ウイルスによる感染症で、高熱に続いて全身に赤いブツブツした発疹が出現するのが特徴です。麻疹ウイルス以外にも発熱、発疹を引き起こすウイルス感染症があり、それらをまとめてウイルス性発疹症と呼ぶことがあります。今回ははしかを中心に発熱と発疹を伴うウイルス感染症についてお話ししたいと思います。

はしかについて

はしかは感染後9〜14日後（潜伏期）に38〜39度の発熱、全身倦怠、くしゃみ、鼻水、咳などの感冒症状で発症し（カタル期）、いったん熱が下がったあと再び39〜40度の発熱とともに顔面から全身に広がる赤い発疹が出現（発疹期）、その後発熱とともに発疹はくすんだ色を残して消退します（回復期）。発熱のみで発疹が出現する

前のカタル期です。に感染力が強いのははしかの患者と接触し、発熱を認める場合は人ごみを避ける必要があります。はしかの重症例では肺炎や脳炎を合併し、1000〜2000人に1人の割合で死亡することがあるため、流行を最小限に食い止める必要があります。

以前までははしかは一度免疫がつくと一生かからない（終生免疫）病気と考えられ、予防接種は1歳時に1回のみ行われていました。本来、乳幼児などに多いはしかが、今回10代後半から20代の若者の患者に流行したのは、①何らかの理由で予防接種を受けなかった、②予防接種を受けたが免疫が獲得されなかった、③はしか患者に接触する機会が少ないため、免疫が低下してしまった、などの人に発症したためと考えられます。特に③のような患者の場合、症状が軽度で非典型的な症状を呈し（修飾麻疹）、1回の血液検査では診断がつかないこともあります。現在ではより確実に免疫をつけるために公費にて1歳時と小学校入学前の2回接種が実施されています。また石川県は全国の中でもはしか対策に積極的で、麻疹迅速把握事業を施行し、はしか患者発生時の迅速な対応にて感染拡大の防止を図り、「石川はしかゼロ作戦」を推進しています。

はしか以外のウイルス性発疹症

麻疹ウイルス以外にも発熱、発疹を引き起こすウイルス感染症があります。

●風疹（三日ばしか）

発熱、赤い発疹・頸のリンパ節腫脹が特徴です。一般にはし

の妊婦が感染すると出生時に先天奇形を生じる危険性があります。予防接種があります。

●水痘（みずぼうそう）

虫刺されのような小さな水ぶくれが全身に多発し痒みを伴います。熱は出ないこともあります。予防接種があります。

●伝染性紅斑（りんご病）

軽いかぜ症状（発熱、倦怠感、関節痛）と両頬の赤い発疹、四肢の網目状の紅斑が特徴です。妊婦が感染すると流産の危険があります。

●突発性発疹 38〜40度の発熱が2、3日

続き、解熱とともに全身に発疹がでます。そのほか、手足口病、伝染性単核球症、ジアンソッティ病、ジアンソッティ症候群など、

いずれのウイルス感染症も乳幼児期にかかることが多い病気ですが、成人がかかることと症状が重くなりやすい傾向があります。今春に七尾地区では幼稚園や小学校で伝染性紅斑（りんご病）が流行っていました。患児からうつった母親で高熱と全身の発疹を呈した例もあり、はしかとの区別が難しいこともありました。

これらのウイルスは比較的典型的な症状をとることが多く、血液検査にて診断確定できますが、これら以外にも発疹、発熱をきたすウイルスはたくさんあります。ただしそれらをすべて血液検査で確認することは、検査が一般的でない、保険がきかない、たくさん調べるとお金がかかるなどの理由で実用的ではありません。症状からはウイルスの特定はできないが、発疹の出現に何らかのウイルスの関連が疑われる場合に「ウイルス性発疹症」の病名が付けられます。

ウイルス性発疹症が疑われるときは・・・

発熱と発疹を認める場合は、まず皮膚科、小児科、内科へご相談下さい。またははしか、三日ばしか、水ぼうそうの感染が疑われる場合（家族からうつった、学校で流行っているなど）はむやみに外出せず、病院受診の際には他の患者への感染を防ぐため、受付で前もって申し出ていただくようお願いいたします。今回の流行を機会にぜひ母子手帳などでこれまでに予防接種を受けたか、これまでにはしかなどにかかったことがあるかを確認しておいてください。ウイルス性発疹症には妊婦が感染すると胎児に影響を及ぼすものもありますので、そのような症状があるときは妊婦との接触は避けてください。また妊娠中に患者と接触もしくは、発症したときは、必要に応じて産婦人科を受診していただく場合があります。

ほかに溶連菌などの細菌やお薬の副作用（薬疹）、小児の川崎病などウイルス以外の原因で発熱、発疹をきたす病気もあります。発熱に対して内服した解熱剤による薬疹や薬剤過敏症候群のような特定の薬剤とウイルスの相互作用で発症する病気もありますので、内服中のお薬を確認できるもの（お薬手帳など）をご持参下さい。



皮膚科医長
藤本 晃英

能登半島地震 当院医療救護班・ママのケアチームを派遣!!

研修医 広沢 徹

4月1日、被災地で医療支援ボランティアを行いました。現地では、私たち以外にも多くの医療チームがボランティアで参加しており、かなりの数の医師や看護師が救援に駆けつけていました。

実際に避難所を巡回して感じたのは、環境や衛生面の問題です。不特定多数の人が狭い場所と一緒に生活する以上、当然ウイルス、細菌等による感染症が懸念されます。手洗い、うがい、感染対策を啓蒙する必要性を改めて感じました。



私たちのもとを訪れる患者の訴えの中心は、当初想定していたような外傷ではなく、慢性疾患を抱える高齢者の精神的な不安でした。震災から時間がたつにつれ、医療支援の中心は、そういった人々の不安に対する力へ移っていったようでした。

震災から2か月以上が過ぎ、被災地は復興に向けて動きはじめています。しかし、財産や家を失った被災者も多く、彼らの復興への道は決して容易ではないでしょう。精神的ケアの必要性を含め、医療に残された課題は、まだまだ多いようです。

ママのケアチームに参加して

精神センター 看護師 濱口裕司

今回5月7日、能登半島地震による被害が特に大きかった輪島市の住民に対し、ボランティアとして、こころのケアチームに参加した。

活動内容は、避難所や施設に避難している精神的ケアが必要な方に相談や診察を行うことであり、対象者は70歳以上の高齢者が多かった。家屋や財産を失った絶望感と先の見えない将来への不安、余震に対する脅えや疲労などが積み重なり、不眠や不安などの症状として現れている現状があった。

自然災害の脅威を実感するとともに、被災者の方々により早く元気を取り戻していただきたいと思います。

ご利用料金変更のお知らせ



平成19年6月1日から、病院事業使用料手数料条例の改定に伴い、一部変更となりますのでお知らせいたします。

・非紹介患者初診加算料

1,050円

*他の医療機関等からの紹介によらず、当病院に直接来院した患者さまについては初診にかかる費用として、1,050円をご負担いただくこととなります。

ただし、緊急やむを得ない事情により、他の医療機関からの紹介によらず来院した場合、国・県・市町村の各種公費負担医療制度の受給対象の方はご負担いただく必要はありません。

・病衣

70円(1日につき)

*入院中の患者さまでご希望の方は、1日につき70円のご利用いただけます。

・分娩介助料

時間内(平日午前8時30分から午後5時15分) 130,000円

(多胎の場合、2児目からは1人につき、65,000円を加算)

時間外(深夜および休日を除く) 135,000円

(多胎の場合、2児目からは1人につき、67,500円を加算)

休日・深夜(午後10時00分から翌午前6時00分および休日) 140,000円

(多胎の場合、2児目からは1人につき、70,000円を加算)

*いつでも安心して入院していただけるよう、分娩入院に必要な衛生用品等を当病院で準備いたしております。

詳細についてはお気軽に左記までお問い合わせ下さい。

医療情報部 患者サービス課 ☎0767-5218747

外来診療予定表

2007/7/1

受付	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
受付A1 TEL52-8702	外科1	古川	当番医	守友	当番医	牛島	当番医	徳楽	当番医	中泉(治)	当番医
	外科2	守友		中泉(治)		徳楽		古川			
	外科3										
	歯科口腔外科	寺井 長谷	手術	寺井	特殊外来	寺井	特殊外来	寺井	特殊外来	寺井	特殊外来
	高塚		長谷 清水	手術	長谷	手術	長谷	手術	長谷 反保		
受付A2 TEL52-8702	整形外科	中村(孝)		堀井		小川		堀井		大学医	
	整形外科2	大学医		中村(孝)	装具外来 13:30~14:30	大学医		小川		堀井	装具外来 13:30~14:30
	リハビリ科 第2・第4		八幡 13:30~14:30								
	麻酔科	麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医		麻酔科医	
受付B1 TEL52-8703	内科胃腸科	田中		中村(勇)		中村(勇)				田中	
	皮膚科1	藤本	藤本 15:00~16:30	藤本	手術・検査		和薬 15:00~16:30 (予約制)	藤本	藤本 15:00~16:30		手術・検査
	皮膚科2	和薬	和薬	和薬		和薬		大学医		和薬	
	形成外科	山城 初診 田口 再診	美容外来	田口 初診 山城 再診	手術	山城 初診 田口 再診	手術	山城 初診 田口 再診	手術	田口 初診 山城 再診	美容外来 (第2金除く)
受付B2 TEL52-8703	内科1	村本/岩田 初診	村本/第2・4週 岩田/第1・3週	横山(将) 初診		村本 初診		藤岡 初診		中島 初診	
	内科2	藤岡 (腎・高)				藤岡 (腎・高)				藤岡 (腎・高)	
	内科3		当番医 (中島)		当番医 (藤岡)		大畑 (血内)	当番医 (藤岡)		当番医 (藤岡)	当番医 (藤岡)
	内科4	横山(将) (糖尿病)		村本 (糖尿病)		横山(将) (糖尿病)		中島 (腎・糖)		村本 (糖尿病)	
	循環器科	村田		村田		村田		村田		村田	
	内科6	猪俣 (循環器)		中島 (腎・糖)		猪俣 (循環器)		猪俣 (循環器)			
受付C1 TEL52-8704	神経内科1	坂井 初・再診		坂井 初・再診				坂井 初・再診		坂井 初・再診	
	神経内科2					浜口 初・再診					
	耳鼻咽喉科1	坂本	坂本 14:30~16:30	坂本	手術・検査	坂本	坂本 14:30~16:30	坂本	手術・検査	坂本	手術・検査
	耳鼻咽喉科2						(検診)		(検診)	宮澤	
受付C2 TEL52-8704	脳神経外科1									林	
	脳神経外科2	橋本(正)		塚田		橋本(正)		塚田		橋本(正)	
	眼科1	佐伯	検査	佐伯	手術	(佐伯)	検査	佐伯	手術	佐伯	検査
	眼科2	辻屋		辻屋		辻屋		辻屋			
受付D1 TEL52-8705	泌尿器科1	南 再診	手術	上木	往診 検査処置 入院検査 他科回診	上木	手術	上木	ED外来 検査処置 入院検査 他科回診	川口	手術
	泌尿器科2	大学医 初診	入院検査 他科回診	川口 初診	入院検査 他科回診	南 初診	入院検査	南・川口 初診		上木 初診	入院検査
	小児科1	伊川		長沖		伊川	太田 第2・4	長沖		伊川	
	小児科2	和田		和田	1ヵ月検診	和田		和田		和田	
受付D2 TEL52-8705	産婦人科1	富澤		大学医 (広崎)	1ヵ月検診	藤田		富澤		大学医 (高木)	
	産婦人科2	藤田		藤田		富澤		大学医 (早稲田)		藤田	
精神 センター TEL52-6619	精神科1	西村 初診・再診		西村 再診		西村 初診・再診	アルコール 薬物依存外来 西村	西村 再診		東間 初診・再診	
	精神科2	平松 再診	平松 初診・再診	平松 初診・再診		東間 初診・再診		平松 初診・再診		平松 初診・再診	
	精神科3	日野 再診		日野 再診		日野 再診		日野 再診		日野 再診	
	精神科4	東間 初診・再診		東間 初診・再診				東間 初診・再診			
外来化学療法点滴室	守友	古川	徳楽	上田	古川	牛島	守友	徳楽	牛島	中泉(治)	
健診センター TEL52-8716	中島	藤岡	藤岡	藤岡	中島	藤岡	村本	藤岡	横山(将)	藤岡	
放射線科 TEL52-8725	月曜日～金曜日の午前及び午後 伊藤・小坂・高仲(木) 放射線治療										
核医学	萱野					滝					

TELはダイヤルイン

放射線科: (火)南、作業療法:1ヵ月に1回 生田、理学療法:3ヵ月に1回(金) 渡辺

病院ボランティア活動員を募集!!

医師、看護師その他の職員と協力して、患者の皆さまが心の安らぎを得られる環境の中で安心して治療を受けることができようように自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人のことを「病院ボランティア」といいます。病院の中には、医師や看護師のような専門職ではなくてもできることはたくさんあります。

当院では、ボランティア活動員を募集しています。人の心を思いやる温かい心を持っている方、患者さんのプライバシーを守れる方であれば経験の有無は問いません。現在、38名の方が登録され、正面玄関、外来ホール案内、ボランティア室でのタオルたたみなどで活動されています。

- 【活動内容】**
- 初来院患者の皆さまの案内（診療申込書の記入説明等）
 - 再来院患者の皆さまの案内（自動再来受付機のご説明等）
 - 各診療科及び検査室等の案内
 - 患者様の送迎補助（杖、歩行器、車椅子利用者の介助及び小児の介助）

- 入院患者様の支援（病棟で使用するタオルたたみ等）



【活動日、時間等】

月々金曜日、9～12時の3時間程度 活動日は、ご都合により月1回から

- 【その他手続きに関すること】
- 登録前に簡単な面接をさせていただきます。
- 活動前にオリエンテーションを行います。
- ボランティア保険に任意で加入できます。（保険料は自己負担）

- ネームプレートを準備します。 ※継続してできる方のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】

公立能登総合病院総務課
増田 まで
☎ 52-8744（直通）

精神科 デイケア (フレンドサークル)

の 紹介

精神科デイケアは、精神科外来リハビリの一つです。在宅精神障害者の方が充実した社会生活を送られるように集える場所を提供し、各種プログラムを通して治療を行い社会参加の促進を図ることを目的としています。スタッフは、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、ボランティアなどのうち、プログラムに応じて数名が入り、利用者の方々の活動を支援しています。場所は精神センター1階入り口にあり、活動日時は月曜から金曜の平日の6時間となっています。デイケアでは、日々の活動を通じて、利用者の方が各自の目標（例えば、退院後地域で生活を送る、作業所に行く、など）に向かって努力するだけでなく、利用者同士で経験を分かち合い支え合っています。



ケア主催の「第2回交流ミニ運動会」が精神センター体育館で行われました。七尾市内の3施設（地域活動支援センターワーケーション野の花、松原病院デイケアコスモス、地域活動支援センターピアサポートの）をはじめ、当院入院中の患者さんの参加もあり、総勢60名近くが集い、玉入れや仮装リレー、デカパン競争などで交流を図りました。この交流会が友達の輪を広げ、より自信を持って地域で生活を送ることができるようになることを願い、今後も続けていきたいと思っております。

問い合わせ先 ☎ 52-8765

表紙

歩行訓練
リハビリ室にて
入江 賢行 写真撮影

ご寄附

平成19年5月18日（金）に下記のご寄付をいただきました。
外来患者様の療養器材として使用させていただきます。ありがとうございました。

寄附採納者 **故 坂下なつ様**
羽咋郡志賀町字米町ヲー13

寄附品目
折りたたみ式車椅子 1台